



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8113 URL http://www.unicharm.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 秋田 泰 (TEL) 03(3451)5111
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	199,354	9.4	25,457	14.8	21,668	9.7	14,581	△40.8
23年3月期第2四半期	182,214	5.6	22,169	3.4	19,758	△10.1	24,630	91.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 11,567百万円(△45.2%) 23年3月期第2四半期 21,112百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	78.22	73.94
23年3月期第2四半期	391.40	390.69

(注) 平成23年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、株式分割を勘案していない数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	444,005	228,369	47.3
23年3月期	444,015	219,632	45.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 210,096百万円 23年3月期 201,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	42.00	—	14.00	56.00
24年3月期	—	16.00			
24年3月期(予想)			—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期第2四半期末の配当金金額は株式分割を勘案していない金額を記載しており、平成23年3月期の合計の配当金金額は1株当たりの単純合計金額を記載しております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	421,000	11.7	51,000	9.5	46,000	6.6	35,000	4.3	187.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社 (社名 尤妮佳(中国)投資有限公司)、除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、添付資料4ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	206,944,773株	23年3月期	206,944,773株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	20,522,204株	23年3月期	20,521,968株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	186,422,688株	23年3月期2Q	62,928,728株

(注) 平成23年3月期第2四半期の期中平均株式数(四半期累計)は、株式分割を勘案していない数値を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は、平成22年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) その他の注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、引き続き海外市場におけるパーソナルケア関連商品の需要が拡大しております。また、国内パーソナルケア関連商品の需要も安定的に推移しております。

海外市場では、アジア参入各国において、前期より引き続き参入エリアの拡大と供給体制の強化を進めてまいりました。同時に、積極的なマーケティング活動を実施し、売上の拡大を進めてまいりました。一方、国内市場においては、商品機能を強化し高付加価値化を推進するとともに商品ラインアップを充実させ、消費者の多様なニーズに応えてまいりました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は199,354百万円（前年同四半期比9.4%増 為替変動要因を除くと実質前年比12.1%増）、営業利益は25,457百万円（前年同四半期比14.8%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比17.6%増）、経常利益は21,668百万円（前年同四半期比9.7%増）、四半期純利益は14,581百万円（前年同四半期比40.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

【ベビーケア関連商品】

国内では、夏企画として汗っかきの赤ちゃんでも快適に過ごせるよう『マミーポコパンツ』の背中部分のシートの通気性を当社従来品よりも10%アップさせた改良品を限定発売しました。また、パッケージを夏らしい赤・青・白のボーダー柄に衣替えし、売上の拡大に取り組みました。

海外では、アジア参入各国において引き続き参入都市の拡大と、商品ラインアップを充実させ、売上の拡大を図りました。

【フェミニンケア関連商品】

国内では、『ソフィはだおもい 極うすスリム』が消費者の高い評価を受け大きく成長したことに加え、従来の品質からデザイン性へと消費者の意識が拡大していることに応えた、ナプキンに見えない小物のようなナプキンという特長を持つ『センターイン コンパクトスリム』も大きく成長いたしました。また、いつもきれいに快適に過ごしたいというご要望にお応えして、香水のような香りのパンティライナー『ソフィ Kiyora フレグランス』を新発売し、市場の活性化を進めました。

海外では、アジア参入各国において、夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し、売上の拡大と収益力を強化しました。

【ヘルスケア関連商品】

大人用排泄ケア用品ブランド『ライフフリー』から、丈夫でしっかり拭ける介護用おしりふき『ライフフリー おしりふき 破れにくいタイプ』を新発売し、商品ラインを拡充しました。また、新しいテレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて積極的な販売促進に取り組みました。

【クリーン&フレッシュ関連商品】

日常生活における清潔・衛生意識の高まりや、災害時など水道が使用できない際の備えから、『シルコット ウェットティッシュ』シリーズの売上が拡大しました。また、コンパクトで持ち運びに便利なポケットサイズのウェットティッシュ『シルコット除菌ウェットティッシュ アロエエキス入り アルコール配合 外出用』を新発売し、ラインアップの充実と販売促進に取り組みました。

この結果、パーソナルケアの売上高は172,528百万円、セグメント利益（営業利益）は23,262百万円となりました。

② ペットケア

国内ペット飼育の5大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」「健康重視」を捉えた商品の開発と市場創造に努めました。

ペットフード部門では、犬用『愛犬元気ベストバランス』と『銀のさらきょうのごほうび』シリーズに『愛犬元気ベストバランス ヨークシャー・テリア用』と『銀のさらきょうのごほうび 長もちカミカミ歯の健康ガム グリーン クロロフィル入り』を、猫用『銀のスプーン』シリーズからは『銀のスプーンプレミアム 三ツ星グルメ 毛玉ケア』を新発売し、商品ラインを拡充しました。また、中国では、前期に引き続き、犬猫フード商品の販売網を拡大し、市場創造に努めました。

ペットトイレタリー部門では、室内飼育小型犬をターゲットにした『デオシート小型犬用』を中心に、排泄ケア関連商品の販売促進に取り組みました。

この結果、ペットケアの売上高は22,763百万円、セグメント利益（営業利益）は1,947百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、食品包材事業を中心に収益改善を進めました。

この結果、その他の売上高は4,062百万円、セグメント利益（営業利益）は235百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産は444,005百万円（前連結会計年度末比0.0%減）となりました。主な増加は、有価証券37,902百万円、投資有価証券14,035百万円であり、主な減少は、現金及び預金△51,026百万円、受取手形及び売掛金△3,884百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債は215,635百万円（前連結会計年度末比3.9%減）となりました。主な増加は、未払法人税等1,287百万円であり、主な減少は、長期借入金△11,101百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は228,369百万円（前連結会計年度末比4.0%増）となりました。主な増加は、当第2四半期純利益14,581百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定△3,804百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間における自己資本比率は47.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年4月28日に公表いたしました通期の連結業績予想値を以下のとおり修正しております。

(通期連結業績予想値の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	421,000	49,000	46,400	35,000	187.75
今回発表予想 (B)	421,000	51,000	46,000	35,000	187.75
増減額 (B - A)	—	2,000	△400	—	—
増減率 (%)	—	4.1	△0.9	—	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	376,947	46,561	43,137	33,560	178.11

修正理由

平成24年3月期第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、アジア市場における需要が堅調に推移していることに加えて、国内パーソナルケア事業の収益性が改善しております。これらの経営環境の変化等を勘案し、通期業績予想を修正しております。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、新たに設立した尤妮佳 (中国) 投資有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

① 有形固定資産の減価償却方法の変更

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用しておりましたが、当連結会計年度よりすべての有形固定資産について、定額法に変更しております。

この変更は、当連結会計年度より開始した第8次中期経営計画 (Blue Sky計画) において、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における設備投資の増加が見込まれることから、グループの設備投資環境の変化を契機に、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から有形固定資産の減価償却方法について再度検討したことによるものであります。

その結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は、耐用年数内で安定的に稼働しており、グループの製品群からは安定的な収益の獲得が見込まれることから、より適切な費用配分を行うため有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することが、経営実態をよりの確に反映するものと判断いたしました。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が1,544百万円増加しております。

なお、この変更がセグメントに与える影響は、当該箇所に記載しております。

② 「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため、これによる影響はありません。

<追加情報>

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

（子会社の取得）

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるUni-Charm(Thailand)Co., Ltd.を通じて、Diana Joint Stock Company株式を取得した結果、Diana Joint Stock Company及びその子会社1社を子会社化いたしました。当該各社の年度に係る決算日が12月31日であり、年度及び四半期に係る当社グループの連結決算日と異なるため、当第2四半期連結会計期間において連結の範囲に含めておりません。

（子会社の取得日の変更）

当社は、平成23年5月17日ならびに平成23年7月29日付で開示いたしました「ユニ・チャームと住友商事による米国ペットケア事業での戦略的業務・資本提携基本合意のお知らせ～ユニ・チャームによる住友商事100%出資子会社 The Hartz Mountain Corporation 株式の取得～」について、以下のとおりクロージング予定日が変更となりました。

（変更前）クロージング日 平成23年10月3日(予定)

（変更後）クロージング日 平成23年11月15日(予定)

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,569	67,542
受取手形及び売掛金	46,038	42,153
有価証券	701	38,604
商品及び製品	11,724	12,602
原材料及び貯蔵品	10,309	11,113
仕掛品	359	307
その他	17,050	17,328
貸倒引当金	△33	△28
流動資産合計	204,719	189,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,161	30,814
機械装置及び運搬具（純額）	48,525	50,313
その他（純額）	18,703	19,924
有形固定資産合計	98,389	101,053
無形固定資産		
のれん	65,022	63,291
その他	2,467	2,504
無形固定資産合計	67,489	65,795
投資その他の資産		
前払年金費用	5,658	5,757
投資有価証券	13,027	27,063
繰延税金資産	53,107	53,073
その他	1,804	1,824
貸倒引当金	△182	△185
投資その他の資産合計	73,416	87,533
固定資産合計	239,295	254,381
資産合計	444,015	444,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,991	38,175
短期借入金	8,371	8,314
未払法人税等	1,953	3,240
賞与引当金	3,833	4,153
災害損失引当金	639	—
その他	37,353	38,843
流動負債合計	90,143	92,726
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	80,642	80,613
長期借入金	47,354	36,252
退職給付引当金	2,623	2,705
その他	3,619	3,336
固定負債合計	134,240	122,908
負債合計	224,383	215,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	217,111	229,159
自己株式	△43,924	△43,925
株主資本合計	207,981	220,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,276	3,261
繰延ヘッジ損益	△13	△2
土地再評価差額金	△89	△166
為替換算調整勘定	△9,220	△13,025
その他の包括利益累計額合計	△6,047	△9,932
新株予約権	288	629
少数株主持分	17,408	17,643
純資産合計	219,632	228,369
負債純資産合計	444,015	444,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	182,214	199,354
売上原価	98,296	107,365
売上総利益	83,917	91,988
販売費及び一般管理費	※1 61,748	※1 66,531
営業利益	22,169	25,457
営業外収益		
受取利息	299	401
受取配当金	184	156
助成金収入	200	4
その他	291	283
営業外収益合計	976	845
営業外費用		
支払利息	59	190
売上割引	1,581	2,103
為替差損	1,583	2,236
その他	162	103
営業外費用合計	3,387	4,634
経常利益	19,758	21,668
特別利益		
固定資産売却益	992	1
投資有価証券売却益	—	0
関係会社出資金売却益	970	—
その他	91	0
特別利益合計	2,054	3
特別損失		
固定資産処分損	460	931
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71	—
災害による損失	—	453
その他	114	110
特別損失合計	646	1,495
税金等調整前四半期純利益	21,166	20,175
法人税、住民税及び事業税	62,434	4,137
法人税等還付税額	△1,054	△286
法人税等調整額	△65,532	242
法人税等合計	△4,152	4,093
少数株主損益調整前四半期純利益	25,319	16,082
少数株主利益	689	1,501
四半期純利益	24,630	14,581

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,319	16,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	△14
繰延ヘッジ損益	8	14
為替換算調整勘定	△4,053	△4,514
その他の包括利益合計	△4,206	△4,514
四半期包括利益	21,112	11,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,474	10,772
少数株主に係る四半期包括利益	△361	795

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				セグメント間 取引消去 又は全社	四半期連結 損益計算書 計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	155,857	23,119	3,237	182,214	—	182,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	11	11	△11	—
計	155,857	23,119	3,248	182,226	△11	182,214
セグメント利益（営業利益）	18,759	3,251	145	22,157	12	22,169

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、当社の連結子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社の普通株式を、平成22年5月6日から平成22年6月16日までの期間において、公開買付けを実施いたしました。また、平成22年9月1日付で、当社を存続会社とし、当社の連結子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社を消滅会社とする吸収合併を行いました。

これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は55,448百万円であり、ペットケアセグメントにおける増加であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	172,528	22,763	4,062	199,354	—	199,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	7	7	△7	—
計	172,528	22,763	4,069	199,361	△7	199,354
セグメント利益(営業利益)	23,262	1,947	235	25,445	12	25,457

(注)「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」に記載したとおり、従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)については定額法)を採用していましたが、当連結会計年度よりすべての有形固定資産について、定額法に変更しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業利益は、パーソナルケアにおいて1,385百万円、ペットケアにおいて129百万円、その他において30百万円それぞれ増加しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの	※1 販売費及び一般管理費の主なもの
販売運賃諸掛 9,535百万円	販売運賃諸掛 10,389百万円
販売促進費 24,185百万円	販売促進費 26,771百万円
広告宣伝費 6,162百万円	広告宣伝費 6,497百万円
従業員給与・賞与 5,197百万円	従業員給与・賞与 5,346百万円
賞与引当金繰入額 1,681百万円	賞与引当金繰入額 1,791百万円
退職給付費用 730百万円	退職給付費用 640百万円
減価償却費 771百万円	減価償却費 554百万円